

保育学生が考える人間関係の接し方 保護者（親）や保育者がかかわる様々な接し方

著者	坂口 哲司
雑誌名	大阪総合保育大学紀要
号	10
ページ	43-54
発行年	2016-03-20
URL	http://doi.org/10.15043/00000072



〔論文〕

保育学生が考える人間関係の接し方

—保護者(親)や保育者がかかわる様々な接し方—

坂口 哲司

Tetsuji Sakaguchi

本学児童保育学科教授

要旨：保育学生は、幼稚園教育要領・保育所保育指針に基づいて、子ども達により良い人間関係を形成させていくためには、どうしたら良いかを学んでいる。そこで、保育学生155名(1部112名、2部43名)に、日頃、どのような人間関係の接し方(人との接し方)があるのかを知るために調査をした。保護者(親)が子どもとかかわる場合、保育者が保護者とかかわる場合、保育者同士がかかわる場合、保育者が園長先生とかかわる場合のそれぞれの接し方について、自由記述で回答を求めた。その結果、様々な人間関係の接し方(人との接し方)が示された。

キーワード：幼稚園教育要領、保育所保育指針、接し方、人間関係、保育学生

はじめに

厚生労働省(2015)は、子ども・子育て支援として、「子どもを生き育てることに喜びを感じられる社会を目指して、次代の社会を担う子ども一人ひとりの育ちを社会全体で応援するため、子育てにかかる経済的負担の軽減や安心して子育てができる環境整備のための施策など、総合的な子ども・子育て支援」を推進する人間関係を形成しようとしている。

内閣府(2015)もまた、新たな人間関係創設のために、「子ども・子育て支援新制度 なるほどBOOK(平成26年9月改訂版)」を出したりしている。子ども・子育て支援新制度は、子育て中のすべての家庭を支援する制度として、①「認定こども園」の普及を図る。②多様な保育の確保により、待機児童の解消に取り組む。③地域の様々な子育て支援を充実する。と言う3本柱を提起して、新たな人間関係の形成をうながしている。幼稚園教育要領・保育所保育指針では、「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」の5領域を設定して、乳幼児の教育・保育を実施することを求めている。この5領域における「人間関係」を子ども達のなかに浸透させていくことが求められる。

厚生労働省や内閣府の提言が、現場の幼稚園や保育所(園)において、幼稚園教育要領や保育所保育指針に基づく日々の活動に影響を与えていくのは、当然である。保育内容「人間関係」を取り巻く事情も変化してきている。そのようななかで、改めて保育内容「人間関係」を形成していくうえでの人と人の接し方を考えることは重要で

ある。

そこで、「人間関係」を形成するうえで、人と人とにどのような接し方があるかを提起することが求められる。

ところが、「接し方」と言う言葉は、日常生活で卑近に使用されるためか、この言葉の説明が、広辞苑(2008)にも大辞泉(2012)にも載っていないのである。例えば広辞苑では「接する」と言う言葉の説明は『①互いに隔てなくつながる。つづく。②まじわる。応対する。③あう。でくわす。④(数)直線もしくは曲線が、他の曲線と一点において接線を共有する。また、曲面が他の曲面と一点において接平面を共有する。』とあるが、「接し方」と言う言葉の説明は辞書にはない。それで「接し方」を「付き合い・付合い」と言う観点から捉えれば、広辞苑では、『①まじわり。交際「-が広い」②交際上の義理。浮世風呂「-を知らねえ」と説明している。大辞泉では、『つきあい【付き合い】①人と交際すること。「彼とは長い-」②義理や社交上の必要から人と交わること「-が悪い人」「-酒。』と説明している。

そこで、人と人との接し方を保育内容「人間関係」との関連から、「『人間関係』の接し方」として、捉えていくこととした。

特に、幼稚園教育要領や保育所保育指針(2008)は、子ども達の人間関係を形成する上での基本的なあり方を提示したものである。幼稚園や保育所では、幼稚園教育要領や保育所保育指針に基づいて、日常の教育・保育が展開されている。ただし、これらは、人間関係のあるべき姿の基本を示唆しているのであって、具体的な人間関係の方法を展開しているわけではない。幼稚園教育要領

や保育所保育指針を根幹として、日常の幼稚園や保育所(園)での日々の生活で子ども達の人間関係を育成していくことを求めている次第である。

幼稚園・保育所(園)・養護施設などの現場で働く人達は、子ども達の人間関係を育てるためのあらゆる工夫をしているが、その際、人と人とがどのような接し方をしていけば良いかを腐心しているのである。その観点から、保護者(親)が子どもとかわる場合、保育者が保護者とかわる場合、保育者同士がかわる場合、保育者が園長先生とかわる場合などの接し方を、保育学生がどのように考えているかを知ることとした。

目 的

本調査の目的は、保育学生が、人間関係における保護者(親)が子どもとかわる場合の接し方や保育者が保護者とかわる場合の接し方や保育者同士の接し方や保育者が園長先生とかわる場合の接し方について、保育学生自身がどのように考えているかを知ることにある。そのことによって、保育学生において、教育・保育実習での人との接し方に生かされ、さらに、将来、現場に勤務したときの人との接し方の一助となることを目的としたものである。

方 法

1 調査票の構成

調査票は、『「人間・発達・心理」』という題でB4サイズ1枚である。用紙には、以下の内容が書かれてあり、それぞれの項目に自由に書くための空白を用意した。I. 保護者(親)が子どもとかわる場合の接し方について：1. 父親が子どもとかわる場合の接し方、2. 母親が子どもとかわる場合の接し方、3. 祖父母が子どもとかわる場合の接し方、II. 保育者が保護者とかわる場合の接し方について：1. 保育者が父親とかわる場合の接し方、2. 保育者が母親とかわる場合の接し方、3. 保育者が祖父母とかわる場合の接し方、III. 保育者同士がかわる場合の接し方について、IV. 保育者が園長先生とかわる場合の接し方について、である。

なお、幼稚園・保育所(園)・養護施設などで実習をする保育学生は、保護者、保育者、保育者同士、園長先生など様々な人間関係の網の目の中で、通園や泊まり込みを通じて実習を体験する。保護者でも両親による子育てや父子・母子・祖父母によって子育てがされているので、保育学生が捉えているそれぞれの人との接し方を明らかにするために自由記述のアンケート項目とした。

2 調査対象

調査は、2006年2月2・3日の筆者の授業に出席した〇〇福祉専門学校学生を対象に実施した。これまでの実習体験や職場体験を振り返って、将来、幼稚園教諭・保育所保育士になったとして、上記で示した調査票を配布して、各項目について、どのような人との接し方があるかを自由に書くように教示した。後期授業が終わる昼間の2年生の保育コース112名と夜間の3年課程の2年生である保育コース43名が調査対象(全体155名・平均年齢20.57歳・標準偏差1.66)であった。男女の占める割合は、女性82.6%、男性17.4%で圧倒的に女性が多い。1・2部と男女ともに合わせて整理した。

結 果

1 保護者(親)が子どもとかわる場合の接し方

(1) 父親が子どもとかわる場合の接し方

表1-1は、保育学生が考える父親が子どもとかわる場合の接し方について、自由記述で書かれた内容を、川喜多二郎(1967;1970)のKJ法の手法を使って、筆者によって分類整理したものである。回答数は件と称することとした(以下、同様)。155名の回答総数は無回答の3件を除くと227件で、回答数は一人約1.46件であった。

最も多かったのは「一緒に遊ぶ(46.5%)」(休みの日には遊んであげる、遊ぶ、一緒に身体を動かす遊びをするなど)「以下、()内は回答例」で、以下、「父親の逞しさ・強さを教える」(父親の強さ・たくましさを伝える、抱き上げたり少し力を使う関わり方、仕事をしている時の姿を伝えるなど)、「優しさと安心感を与え厳しく接する」(優しく厳しく接する、男らしく包み込む優しさで接する、広い心を持って接するなど)、「愛情を注いで大事に接する」「コミュニケーションを取る」「躾やケジメや善悪を教える」「多くの時間を子どもと接する」などが第7位までを占めていた。

保育学生が考える父親が子どもとかわる接し方については、一緒に遊び、父親の逞しさや強さを教え、優しさや安心感を与えて厳しく接する接し方を示していた。

(2) 母親が子どもとかわる場合の接し方

表1-2の回答総数は無回答の2件を除く254件(一人約1.64件)であった。

「優しく厳しく接する(27.1%)」(優しく接する、優しく厳しく接する、優しい子どもになるように接するなど)と「愛情を注ぐ(27.1%)」(愛情を注ぐ、笑顔を忘れないで接する、安心感(ぬくもり)を与えるなど)が同順位で第1位を占めて、以下、「躾・善悪・ケジメ・礼儀等を

表1-1. 父親が子どもとかかわる場合の接し方 (%)

項目	件数 (%)
1. 一緒に遊ぶ	72 (46.5)
2. 父親の逞しさ・強さを教える	27 (17.4)
3. 優しさと安心感を与え厳しく接する	19 (12.3)
4. 愛情を注いで大事に接する	15 (9.7)
5. コミュニケーションを取る	13 (8.4)
6. 躰やケジメや善悪を教える	12 (7.7)
7. 多くの時間を子どもと接する	11 (7.1)
8. チャレンジし活発に関わる	10 (6.5)
9. 子どもと一緒に関わる	8 (5.2)
10. 園行事や送り迎えに関わる	7 (4.5)
11. 見守る	6 (3.9)
12. スキンシップをする	5 (3.2)
13. 誉める	5 (3.2)
14. 教育して色々教える	5 (3.2)
15. 子どもの手本となる	5 (3.2)
16. 男の子と女の子の接し方を変える	3 (1.9)
17. その他	4 (2.6)
N A	3 (1.9)
合計	230 (155)

表1-2. 母親が子どもとかかわる場合の接し方 (%)

項目	件数 (%)
1. 優しく厳しく接する	42 (27.1)
2. 愛情を注ぐ	42 (27.1)
3. 躰・善悪・ケジメ・礼儀等を教える	27 (17.4)
4. 料理や身の回りの事を教える	26 (16.8)
5. 話したり聞いたりする	20 (12.9)
6. 子どもを理解し受け止めてもらう	19 (12.3)
7. スキンシップをする	16 (10.3)
8. 誉める	10 (6.5)
9. 見守る	8 (5.2)
10. 母親らしさを発揮して接してもらう	8 (5.2)
11. 何か変化がないか気に掛ける	7 (4.5)
12. 一緒に遊ぶ	6 (3.9)
13. 言葉を掛ける	5 (3.2)
14. 絵本を読む	5 (3.2)
15. 園行事や送迎に参加する	5 (3.2)
16. その他	8 (5.2)
N A	2 (1.3)
合計	256 (155)

教える」「料理や身の回りの事を教える」「話したり聞いたりする」「子どもを理解し受け止めてもらう」「スキンシップをする」などが第7位までを占めていた。

保育学生が考える母親が子どもとかかわる接し方として、優しく厳しく接し、愛情を注ぎ、躰・善悪・ケジ

表1-1. 自由記述の各項目の反応数

- 一緒に遊ぶ-休みの日には遊んであげる 22、遊ぶ 20、一緒に身体を動かす遊びをする 16、サッカーや野球やキッチボールをする 10、元気よく遊ぶ 2、思いきり遊ぶ 2
- 父親の逞しさ・強さを伝える-父親の強さ・たくましさ伝える 11、抱き上げたり少し力を使う関わり方 10、仕事をしている時の姿を伝える 2、父親の役割 1、力仕事をする 1、力的な関わりをする 1、背中を語る 1
- 優しさと安心感を与え厳しく接する-優しく厳しく接する 9、男らしく包み込む優しさで接する 7、広い心を持って接する 1、安心感を与える 1、優しい顔をたくさん持つ 1
- 愛情を注いで大事に接する-愛情をそそぐ 14、大事に接する 1
- コミュニケーションを取る-子どもの話を聞く・コミュニケーションをする 12、色々な事を話したり連れて行ったりする 1
- 躰やケジメや善悪を教える-しつけ 25、物事の善悪を教える 3、男の子は泣かないと言う 1、可愛がりながらもケジメを付ける 1、怒った時は子どもに分かるように説明する 1
- 多くの時間を子どもと接する-休みの日には子どもと多くの時間を持つ 9、多くの時間、接する 2
- チャレンジし活発に関わる-活発に関わる 5、何事にもチャレンジする 4、言葉より行動 1
- 子どもと一緒に関わる-父親と一緒に風呂に入る 3、ご飯と一緒に食べる 3、身の回りの援助 1、育児への協力 1
- 園行事や送り迎えに関わる-送り迎え 4、一緒にする事を考える 2、園・行事に参加する 1
- 見守る-子どもの事をよく見る 2、見守る 2、子どもに聞いて状態を知る 2
- スキンシップをする-スキンシップをする 4、抱っこする 1
- 誉める-誉める 4、子どもの特徴を伸ばす 1
- 教育して色々教える-父親しか教えられないことを教える 2、教育をきちんとする 1、経験させることで覚えさせる 1、自分で何でもするように伝える 1
- 子どもの手本となる-子どもの手本となる 4、格好良い所を見せる 1
- 男の子と女の子の接し方を変える-男の子と女の子の接し方を変える 3
- その他-女の子は可愛いので身近に置く 1、家族の役割の明確化 1、家族なので一番接しやすい 1、普通に接する 1

表1-2. 自由記述の各項目の反応数

- 優しく厳しく接する-優しく接する 26、優しく厳しく接する 11、優しい子どもになるように接する 2、厳しくなりすぎない 2、暖かく迎える 1
- 愛情を注ぐ-愛情を注ぐ 26、笑顔を忘れないで接する 5、安心感(ぬくもり)を与える 4、子どもの全てを包み込む 3、愛情を伝える 2、子どもの事を信じる 1、大事に接する 1
- 躰・善悪・ケジメ・礼儀等を教える-躰 8、善悪を教える 7、身の回りの事を教える 4、生活習慣を守って育てる 2、ケジメをつける 2、自分でできる事は自分でさせる 1、礼儀・常識 1、甘やかさない 1、教育的 1
- 料理や身の回りの事を教える-料理を創ったり教える 14、家のお手伝いをしてもらう 7、買い物 3、身の回りの援助 1、色々な事をさせる 1、話したり聞いたりする-話したり聞いたりする 18、名前を呼んで接する 1、コミュニケーションを取る 1
- 子どもを理解し受け止める-子どもの味方になる 11、子どもの欲求を満たしてあげる 4、子どもを理解する 2、子どもの話に共感する 2、ちょっとした言葉や態度に気づく 1
- スキンシップをする-抱きしめる 9、スキンシップをする 4、そばにいてあげる 3
- 誉める-誉める 10
- 見守る-見守る 7、子どもの目線にいる 1
- 母親らしさを発揮して接してもらう-母親のぬくもりを教える 2、優しい母親を見てもらう 2、母親と一緒に学ぶ気持ちを持つ 1、母親の役割の大切さを伝える 1、母親らしさを生かす 1、保育者が伝えられない大事な事を伝える 1
- 何か変化がないか気に掛ける-何か変化がないか気に掛ける 6、危険な事に関わらせない 1
- 一緒に遊ぶ-一緒に遊ぶ 5、体を動かす遊びをする 1
- 言葉を掛ける-言葉を掛ける 5
- 絵本を読む-絵本を読む 5
- 園行事や送迎に参加する-園・行事に参加する 1、送迎 4
- その他-男女に限らず可愛いので近くに置く 1、家族なので一番接しやすい 1、父親より長時間一緒にいる 1、良く食べさせ良く寝かす 1、普通に接する 1、夫婦仲良くして親を好きになるようにする 1、仕事について教える 1、父親・母親の役割のバランスを取る 1

メ・礼儀などを教える接し方を示していた。

(3) 祖父母が子どもとかかわる場合の接し方

表1-3の回答総数は無回答の3件を除く210件(一人約1.35件)であった。

最も多かったのが「伝承遊びをする・教える(25.8%)」

表1-3. 祖父母が子どもとかかわる場合の接し方 (%)

項目	件数 (%)
1. 伝承遊びをする・教える	40 (25.8)
2. 日本の文化や伝統を教え伝える	37 (23.9)
3. 優しい祖父母で接する	35 (22.6)
4. 甘やかし過ぎない・可愛がりすぎない	21 (13.5)
5. 愛情を注ぐ	18 (11.6)
6. 孫を可愛がる・甘やかす	17 (11.0)
7. 礼儀や善悪などを教える	10 (6.5)
8. 一緒に遊ぶ	5 (3.2)
9. 園行事や送迎に参加する	5 (3.2)
10. 孫と話しをして理解する	4 (2.6)
11. 笑顔で接する	3 (1.9)
12. 好きな物を食べたりおもちゃを買う	3 (1.9)
13. 親のよいところを話してあげる	2 (1.3)
14. 見守る	2 (1.3)
15. 親代わりの役割をする	2 (1.3)
16. その他	6 (3.9)
N A	3 (1.9)
合計	213 (155)

で、以下、「日本の文化や伝統を教え伝える」（昔の話をする、日本の文化を伝える・教える、話を聞かせて伝統を伝えるなど）、「優しい祖父母として接する」（優しい祖父母で接する、孫の逃げ場所になる、優しく厳しく接するなど）、「甘やかし過ぎない・可愛がりすぎない」「愛情を注ぐ」「孫を可愛がる・甘やかす」「礼儀や善悪などを教える」などが第7位までを占めていた。

保育学生が考える祖父母が子どもとかかわる接し方として、伝承遊びをする・教える、日本の文化や伝統を教え伝える、優しい祖父母で接するなどの接し方を示していた。

以上、保育学生は、保護者（親）が子どもとかかわる場合の接し方として、様々な接し方を述べた。子どもとかかわる場合の保育学生一人当たりの父親・母親・祖父母の無回答を除く自由記述総回答数（691件）の平均回答数は、約1.49件であった。自由記述平均回答数で比較すれば、母親・約1.64件>父親・約1.46件>祖父母・約1.35件の順位であった。母親が最も多かった。保育学生は、母親が子どもとの日常生活において最も触れあうと考えるから回答数が多かったと思われる。

2 保育者が保護者とかかわる場合の接し方

(1) 保育者が父親とかかわる場合の接し方

表2-1の回答総数は無回答の3件を除く198件（一人約1.28件）であった。

最も多かったのが「園での出来事（様子）を伝える

表1-3. 自由記述の各項目の反応数

1. 伝承遊びをする・教える-伝承遊びをする・教える 40
2. 日本の文化や伝統を教え伝える-昔の話をする 17、日本の文化を伝える・教える 12、話を聞かせて伝統を伝える 6、昔の料理を創ってあげる 2
3. 優しい祖父母で接する-優しい祖父母で接する 25、孫の逃げ場所になる 4、優しく厳しく接する 2、優しいしゃべり方で接する 2、母親とは違う雰囲気を持つ 1、孫に好かれる祖父母になる 1
4. 甘やかし過ぎない・可愛がりすぎない-甘やかし過ぎない・可愛がりすぎない 16、お金や物を与えすぎない 3、何でもあげたりばかりしない 1、孫に甘いがそれなりの関わりをする 1
5. 愛情を注ぐ-愛情を注ぐ 14、孫の味方になる 2、何でもしてあげたくなる 1、会って成長した事の喜びを伝える 1
6. 孫を可愛がる・甘やかす-孫を可愛がる・甘やかす 14、孫の側を離れない 1、誉める 1、たくさん触れ合う 1
7. 礼儀や善悪などを教える-人間として大切な事を伝える 4、礼儀などを教える 2、善悪を教える 1、是々非々を教える 1、関わりや躰を親と決めておく 1、名前を呼んで接する 1
8. 一緒に遊ぶ-一緒に遊ぶ 5
9. 園行事や送迎に参加する-送迎 2、園行事に参加する 1、参観日など 1、敬老会や行事 1
10. 孫と話しをして理解する-孫の話を聞く 3、孫を理解する 1
11. 笑顔で接する-笑顔で接する 3
12. 好きな物を食べたりおもちゃを買う-買い物などに連れて行く 1、おもちゃを買ってあげる 1、好きな物を食べさせたり買ってあげる 1
13. 親の良いところを話してあげる-祖父母から両親の事を聞いて感謝の気持ちを持たせる 1、親の話をしてあげる 1
14. 見守る-見守る 2
15. 親代わりの役割をする-親代わりの役割をする 1、母親の代役 1
16. その他-同居の場合、基本的に毎日一緒 1、ほとんど思わない 1、子育てに協力をする 1、久々に会うと嬉しい 1、普通に接する 1、祖父母を敬う気持ちを育てる 1

(26.5%)」(子どもの様子などを話す、園での出来事(様子)を伝える、子どもの成長を伝えるなど)、「子どもとの過ごし方や悩みや気持ちを聞く」(園での様子を伝える、子どもとの関わりを聞く、土・日の子どもの過ごし方を聞くなど)、「遊んだり触れあったりして接してもらう」(たくさん遊んであげてほしい事を伝える、子どもとたくさん触れあってもらう、コミュニケーションを大切にするなど)、「礼儀と謙虚な気持ちで接する」「保育のアドバイスをして接してもらう」「子どもの良いところを誉めたり言う」「笑顔で暖かく優しく明るく元気に接する」などが第7位までを占めていた。

保育学生が考える父親とかかわる接し方として、園での出来事(様子)を伝える、子どもとの過ごし方や悩みや気持ちを聞き、遊んだり触れあったりして接するなどの接し方を示していた。

(2) 保育者が母親とかかわる場合の接し方

表2-2の回答総数は無回答の3件を除く219件（一人約1.41件）であった。

最も多かったのが「相談に乗ったり聞いたりする(23.2%)」「相談を聞く・乗る、家での様子を聞く、打ち解けやすい雰囲気を作るなど)、「園での出来事(様子)を伝える」(園での出来事を伝える、園での友達や保育者との関わりを話すなど)、「信頼関係を創る」「報告・連絡・連携を取る」「話しやすくしてアドバイスをする」「母親のケアや悩みや気持ちを理解する」などが第7位までを占めていた。

表2-1. 保育者が父親とかかわる場合の接し方 (%)

項目	件数 (%)
1. 園での出来事 (様子) を伝える	41 (26.5)
2. 子どもとの過ごし方や悩み気持ちを聞く	31 (20.0)
3. 遊んだり触れ合ったりして接してもらう	22 (14.2)
4. 礼儀と謙虚な気持ちで接する	17 (11.0)
5. 保育のアドバイスをして接してもらう	12 (7.7)
6. 子どもの良いところを誉めたり言う	10 (6.5)
7. 笑顔で暖かく優しく明るく元気に接する	9 (5.8)
8. 挨拶をする	8 (5.2)
9. 園行事や保護者参観に来てもらう	8 (5.2)
10. 信頼関係を創る	7 (4.5)
11. 普通に接したり話したりする	6 (3.9)
12. 子ども達が喜んでいる事を伝える	5 (3.2)
13. 本音で話し子どもの情報交換をする	4 (2.6)
14. 父親の役割を理解して接してもらう	4 (2.6)
15. 父親の気持ちを理解する	3 (1.9)
16. 子育てを協力し合う	2 (1.3)
17. 母親の気持ちをそれとなく伝える	2 (1.3)
18. その他	7 (4.5)
N A	3 (1.9)
合計	201 (155)

表2-2. 保育者が母親とかかわる場合の接し方 (%)

項目	件数 (%)
1. 相談に乗ったり聞いたりする	36 (23.2)
2. 園での出来事 (様子) を伝える	32 (20.6)
3. 子どもと父親の関係や子どもの事を聞く	19 (12.3)
4. 信頼関係を創る	19 (12.3)
5. 報告・連絡・連携を取る	16 (10.3)
6. 話しやすくしてアドバイスをする	16 (10.3)
7. 母親のケアや悩みや気持ちを理解する	14 (9.0)
8. 家庭と一体となって援助していく	10 (6.5)
9. 挨拶をしたり敬語で話す	7 (4.5)
10. 子どもの良い所を誉めたり伝える	7 (4.5)
11. コミュニケーションを大切にする	7 (4.5)
12. 普通に接したり話したりする	7 (4.5)
13. 笑顔で暖かく明るく元気に接する	6 (3.9)
14. 丁寧に優しく接する	6 (3.9)
15. スキンシップや愛情をかける	4 (2.6)
16. 礼儀をわきまえ謙虚な心で接する	3 (1.9)
17. 連絡帳を創り伝達手段を考え接する	2 (1.3)
18. 園行事や送迎に参加する	2 (1.3)
19. その他	6 (3.9)
N A	3 (1.9)
合計	222 (155)

表2-1. 自由記述の各項目の反応数

- 園での出来事 (様子) を伝える - 園での出来事 (様子) を伝える 18、子どもの様子などを話す 15、子どもの成長を伝える 4、子どもの事をしっかり伝える 2、園での様子を恥をかかせないように話す 1、敬語で今日、あった出来事を話す 1
- 子どもとの過ごし方や悩みや気持ちを聞く - 園での様子を伝える 14、子どもとの関わりを聞く 5、土・日の子どもの過ごし方を聞く 4、子どもの悩みを聞く 3、話を受入れる・聞く 2、父と子の話を聞く 1、子どもの様子が分かっているかを聞く 1、子どもが父親の事をどのようにしているかを聞く 1
- 遊んだり触れあったりして接してもらう - たくさん遊んであげてほしい事を伝える 8、子どもとたくさん触れあってもらおう 7、コミュニケーションを大切にする 5、空いている時間、子どもと接してもらおうようにする 1、甘やかす過ぎないように言う 1
- 礼儀と謙虚な気持ちで接する - 謙虚な心で接する 7、礼儀をきちんとする 3、礼儀正しく接する 2、常に下手に 1、色目を使わない 1、気持ちをそこねないようにする 1、一定の距離は保つ 1、父親の威厳を大切にする 1
- 保育のアドバイスをして接してもらう - 保育のアドバイスを 5、会った時は色々な話をする 3、愛情を持って接するよう言う 2、父親と接する時間を創って話す 1、子どもを育てる自覚を持ってもらう 1
- 子どもの良いところを誉めたり言う - 子どもの良いところやできた所を伝える 5、子どもの良いところを言う 3、子どもの状況を誉めながら話す 2
- 笑顔で暖かく優しく明るく元気に接する - 笑顔で暖かく接する 6、優しく接する 1、明るく元気にはきはきと接する 1、明るく接する 1
- 挨拶をする - 挨拶をする 8
- 園行事や保護者参観に来てもらう - 行事になるべく来てもらうように話す 4、保護者参観などで接する 2、父親に参加してもらおう行事を多く設定する 2
- 信頼関係を創る - 信頼関係を創る 7
- 普通に話したり接したりする - 普通に接する 2、普通に話す 1、日常会話 1、父母区別なく平等に接する 1、異性として関わらない 1
- 子ども達が喜んでいる事を伝える - 来園を感謝する 3、子ども達が喜んでいる事を伝える 1、子どもが大好きですよ言っているや伝える 1
- 本音で話し子どもの情報交換をする - 子どもに関する情報交換をする 1、本音で話す 1、はっきりと物事を伝える 1、話しやすいようにする 1
- 父親の役割を生かして接してもらう - 父親にしか分からないことを話す 1、父親の必要性を伝える 1、力仕事や立ちションベンの仕方を教えてもらう 1、家との違いなどを知ってもらう 1
- 父親の気持ちを理解する - 父親の気持ちを理解する 3
- 子育てを協力し合う - 子育てを協力し合う 2
- 母親の気持ちをそれとなく伝える - 母親の気持ちをそれとなく伝える 2
- その他 - 自己紹介をして知ってもらう 2、父親の性格に応じて接し方を変える 2、子育ての大変さを分かってもらう 1、TEL で応答 1、ケースバイケース 1

表2-2. 自由記述の各項目の反応数

- 相談に乗ったり聞いたりする - 相談を聞く・乗る 17、家での様子を聞く 10、打ち解けやすい雰囲気を作る 4、話は真剣に最後まで聞く 3、相談された事はきちんと答える 1、子育てのアドバイスを 1
- 園での出来事 (様子) を伝える - 園での出来事を伝える 15、園での友達や保育者との関わりを話す 5、普段の子ども様子を話す 5、子どもの様子を伝える 4、嫌われないために今日の出来事を伝える 1、気になった事は何でも伝える 1、様子を細かく説明する 1
- 子どもと父親の関係や子どもの事を聞く - 園での様子を聞く 11、子どもの事を聞く 6、子どもと父親との関わりを聞く 1、子どもの変化がないかを聞く 1
- 信頼関係を創る - 信頼関係を創る 19
- 報告・連絡・連携を取る - 子どもに関する情報交換をする 10、日々の様子を連絡し合う 3、細かい事でも報告・連絡する 2、連携をしっかり取る 1
- 話しやすくしてアドバイスを - 育児の不安や疑問について話したりする 9、何でも話しやすくしてアドバイスを 6、子どもの良い事や悪い事も話す 1
- 母親のケアや悩みや気持ちを理解する - 母親の悩みや気持ちを理解する 12、母親のケアもする 2、
- 家庭と一体となって援助していく - 家庭と一体となって援助していく 8、子どもの健康状態を伝える 1、園と家庭でのやり方を統一する 1
- 挨拶をしたり敬語で話す - 挨拶をする 6、敬語で話す 1
- 子どもの良い所を誉めたり伝える - 子どもの悪い所は遠回しに良いところはいつか言う 4、子どもの良いところを伝える 2、子どもの良い点を誉める 1
- コミュニケーションを大切にする - コミュニケーションを大切に 7
- 普通に接したり話したりする - 特定の母親と親しくならない 2、日常会話 1、普通に接する 1、父親・母親区別なく接する 1、異性として関わらない 1、男と同じ 1
- 笑顔で暖かく明るく元気に接する - 笑顔で暖かく接する 4、明るく元気に接する 2
- 丁寧に優しく接する - 優しく接する 2、丁寧に優しく援助する 2、お疲れ様やお帰るなさいと言葉をかける 2
- スキンシップや愛情をかける - スキンシップをするように言う 2、子どもに愛情を掛けるように言う 2
- 礼儀をわきまえ謙虚な心で接する - 礼儀をきちんとする 2、謙虚な心で接する 1
- 連絡帳を創ったり伝達手段を考え接する - 連絡帳を創る 1、伝達手段を考えて接する 1
- 園行事や送迎に参加する - 園行事に参加するように伝える 1、送迎 1
- その他 - 感謝の気持ちを忘れずに接する 1、子どもの成長を喜ぶ 1、母親にしか分からない事を話す 1、母親の性格に応じて接し方を変える 1、冷静に的確に接する 1、世間話もする 1

保育学生が考える母親とかかわる場合の接し方については、相談に乗ったり聞いたりする、園での出来事（様子）を伝える、信頼関係を創るなどの接し方を示していた。

（3）保育者が祖父母とかかわる場合の接し方

表2-3の回答総数は無回答の8件を除く180件（一人約1.16件）であった。

最も多かったのが「子どもの様子（成長）を伝える・話す（20.0%）」（子どもの様子（成長）を伝える・話す、子どもの育ちを協力し合っている、子どもの良い点・悪い点を話し合いアドバイスするなど）で、「コミュニケーションを取る」（コミュニケーションを取る、話を聞く、孫とのコミュニケーションを取ってもらうなど）と「園での出来事（様子）を伝える」（園での様子を伝える、園での出来事（様子）を伝える、普段の子どもの様子を話すなど）が同順位で第2位であった。以下、「子どもの良い所を言う」、「文化・伝統を伝え伝承遊びを教える」「祖父母からアドバイスを受けたり教えてもらう」が同順位、「園での様子や親との関わりを聞く」などが第7位までを占めていた。

保育学生が考える祖父母とかかわる場合の接し方につ

いては、祖父母に子どもの様子（成長）を伝える・話すとともにコミュニケーションを取ったり、園での出来事（様子）を伝えるなどの接し方を示していた。

以上、保育学生は、保育者が保護者（親）とかかわる場合の接し方として、様々な接し方を述べた。保育者がかわる場合の保育学生一人当たりの父親・母親・祖父母の無回答を除く自由記述総回答数（597件）の平均回答数は、約1.28件であった。自由記述平均回答数で比較すれば、母親・約1.41件>父親・約1.27件>祖父母・約1.16件の順位であった。母親が最も多かった。保育学生は、母親が日々の子どもの送迎も含めて、日常場面において保育者と最も触れあっていると考えるから回答数が多かったと思われる。

3 保育者が保育者とかわる場合の接し方

表3の回答総数は無回答の2件を除く239件（一人約1.54件）であった。

最も多かったのが「報告・連絡・相談をする（22.6%）」（報告・連絡・相談をする、保育についての意見交換をする、相互のコミュニケーション取るなど）で、以下、「相談し助け合う」（相談し合う、助け合う、チームワー

表2-3. 保育者が祖父母とかかわる場合の接し方 (%)

項目	件数 (%)
1. 子どもの様子（成長）を伝える・話す	31 (20.0)
2. コミュニケーションを取る	18 (11.6)
3. 園での出来事（様子）を伝える	18 (11.6)
4. 子どもの良い所を言う	15 (9.7)
5. 文化・伝統を伝え伝承遊びを教える	11 (7.1)
6. 祖父母からアドバイスを受け教えてもらう	11 (7.1)
7. 園での様子や親との関わりを聞く	10 (6.5)
8. 祖父母との関わりについて話を聞く	9 (5.8)
9. 笑顔で暖かく明るくはきはきとする	8 (5.2)
10. 礼儀や挨拶や謙虚さで接する	8 (5.2)
11. 優しく安心感を与えられるように接する	6 (3.9)
12. 行事に参加してもらう	6 (3.9)
13. 敬老会を開いたり送迎で交流を深める	6 (3.9)
14. 信頼関係を創る	6 (3.9)
15. 言葉遣いに気を付ける	5 (3.2)
16. 敬老の日に子どもと感謝の気持ちを伝える	2 (1.3)
17. 気持ちを理解する	2 (1.3)
18. 普通に接する	2 (1.3)
19. その他	6 (3.9)
N	A
合計	8 (5.2)
	188 (155)

表2-3. 自由記述の各項目の反応数

- 子どもの様子（成長）を伝える・話す-子どもの様子（成長）を伝える・話す26、子どもの育ちを協力し合っている2、子どもの良い点・悪い点を話し合いアドバイスする1、子どもとの関わりができるように工夫する1、子どもの成長を見守ってもらう1
- コミュニケーションを取る-コミュニケーションを取る7、話を聞く4、孫とのコミュニケーションを取ってもらう3、意見を大切に1、相談に乗る・聞く1、情報交換1、連携をしっかりと取る1
- 園での出来事（様子）を伝える-園での様子を伝える9、園での出来事（様子）を伝える4、普段の子どもの様子を話す3、子どもの頑張っている姿を見ってもらう1、園の様子を伝える1
- 子どもの良い所を言う-子どもの良い所を言う15
- 文化・伝統を伝え伝承遊びを教える-伝承遊びを子どもに教えてもらう7、文化・伝統を伝える2、命について話してもらう1、昔の事を子どもに話してもらう1
- 祖父母からアドバイスを受けたり教えてもらう-色々な事を教えてもらう5、祖父母からアドバイスを受ける2、人生の先輩として接する2、昔の子育ての仕方を聞いて学ぶ1、伝統的な話を聞く1
- 園での様子や親との関わりを聞く-子どもの様子を聞く4、園での様子や親との関わりを聞く2、両親の性格や父母のことをそれとなく聞く2
- 祖父母との関わりについて話を聞く-たくさん関わってもらうように話す3、祖父母との関わりについて伺う2、子どもに愛情をかけてもらうように言う1、たまに会う時はいっぱい子どもと接してもらう1、子どもと接しているかを聞く1、子どもとの関わりを聞く1
- 笑顔で暖かく明るくはきはきとする-明るくはきはきと大きな声で2、笑顔で暖かく6
- 礼儀や挨拶や謙虚さで接する-挨拶をする4、礼儀をきちんとする3、謙虚な心で接する1
- 優しく安心感を与えられるように接する-優しく5、安心感を与えられるように接する1
- 行事に参加してもらう-行事に参加してもらう6
- 敬老会を開いたり送迎で交流を深める-敬老会を開く・大事にする3、送迎で交流を深める3
- 信頼関係を創る-信頼関係を創る6
- 言葉遣いに気を付ける-言葉遣いに気を付ける5
- 敬老の日に子どもと感謝の気持ちを伝える-敬老の日に子どもと感謝の気持ちを伝える1、感謝の気持ちを伝える1
- 気持ちを理解する-気持ちを理解する1、理解してもらう1
- 普通に接する-日常会話1、普通に接する1
- その他-詳しく子どもの事は話さない1、プロとして接する1、その時による1、性格に応じて接し方を変える1、祖父母の方から母親を叱ってもらう1、子どもが祖父母について話した事を伝える1

表3. 保育者が保育者とかかわる場合の接し方 (%)

項目	件数 (%)
1. 報告・連絡・相談をする	35 (22.6)
2. 相談し助け合う	33 (21.3)
3. お互いに話し合いをする	31 (20.0)
4. 協力し合う	23 (14.8)
5. 先輩から学び教えてもらう	17 (11.0)
6. お互いに理解し認め合い尊重する	12 (7.7)
7. 上下関係をしっかりとる	12 (7.7)
8. 人間関係を大切にす	10 (6.5)
9. 年上には敬語で話し礼儀をわきまえる	9 (5.8)
10. 仲良くし子どもにも見せる	9 (5.8)
11. より良い園になるよう行動する	7 (4.5)
12. 挨拶を忘れない	6 (3.9)
13. 思いやりや気遣いをする	6 (3.9)
14. 笑顔で明るく謙虚に	5 (3.2)
15. 信頼関係を創る	5 (3.2)
16. 悪口(園関係)を言わない	3 (1.9)
17. 楽しい雰囲気できやすいようにする	3 (1.9)
18. プライベートな話をせず仕事と区別する	2 (1.3)
19. その他	11 (7.1)
N A	2 (1.3)
合計	241 (155)

クを大切にすなど)、「お互いに話し合いをする」(お互いに話し合いをする、相手の意見をよく聞くようにすなど)、「協力し合う」「先輩から学び教えてもらう」、「お互いに理解し認め合い尊重する」「上下関係をしっかりとる」が同順位で、第7位までを占めていた。

保育学生が考える保育者が保育者とかかわる場合の接し方については、報告・連絡・相談をする、相談し助け合う、お互いに話し合いをするなどの接し方を示していた。

4 保育者が園長先生とかかわる場合の接し方

表4の回答総数は無回答の6件を除く239件(一人約1.54件)であった。

最も多かったのが「報告・連絡・相談をする(29.0%)」(何事も相談する、報告・連絡・相談をする、相談して解決するなど)で、以下、「礼儀をわきまえて謙虚な心で接する」(礼儀をわきまえて話す、謙虚な心で接する、上下関係をしっかりとるなど)、「園長先生の考えや方針に従って接する」(園長先生の方針に従う、園長先生の考えなどに従って接する、園長先生に言われたことを素直に受け入れるなど)、「園長先生に尊敬の気持ちを持つ」「自分の思っている事を伝える・話す」「園・クラスの出来事を伝える」「明るく笑顔で謙虚に挨拶をする」などが

表3. 自由記述の各項目の反応数

- 報告・連絡・相談をする-報告・連絡・相談をする20、保育についての意見交換をする6、相互のコミュニケーション取る5、保育内容の確認や連携を取る4
- 相談し助け合う-相談し合う26、助け合う6、チームワークを大切にす1
- お互いに話し合いをする-お互いに話し合いをする30、相手の意見をよく聞くようにす1
- 協力し合う-協力し合う20、協調性を大切にす2、共同作業をする1
- 先輩から学び教えてもらう-先輩から学ぶ12、分からない時は先輩保育士に頼る2、他の先生から学ぶ姿勢を持つ2、お互いの良い所・悪い所を勉強し合っって良い所を盗み取る1
- お互いに理解し認め合い尊重する-意見を尊重し合う5、お互いに理解し合う・認め合う2、お互いに助け合う・認め合う2、各先生の保育を尊重する2、お互いの保育観を理解する1
- 上下関係をしっかりとる-上下関係をしっかりとる12
- 人間関係を大切にす-人間関係を大切にす6、何事でも話しやすい関係を創る4
- 年上には敬語で話し礼儀をわきまえる-礼儀を大切にす4、上からものを言わない2、年上には敬語で話す1、話し方に気を付ける1、上下関係なく正しい言葉遣いをする1
- 仲良くし子どもにも見せる-仲良くする5、仲間になる3、仲の良い所を子ども達に見せる1
- より良い園になるよう行動する-より良い園になるよう行動する3、子どもにとって何が良いかを話し合う3、子ども達の居心地の良い園になるよう心がける1
- 挨拶を忘れない-挨拶を忘れない6
- 思いやりや気遣いをする-思いやり3、気遣い3
- 笑顔で明るく謙虚に-明るく謙虚に3、笑顔ではきはきと2
- 信頼関係を創る-信頼関係を創る5
- 悪口(園関係)を言わない-悪口(園関係)を言わない3
- 楽しい雰囲気できやすいようにする-動きやすいようにする2、楽しい雰囲気1
- プライベートな話をせず仕事と区別する-プライベートな話はしない1、プライベートと仕事をわきまえる1
- その他-一緒に頑張る2、一人一人が責任を持って行動する1、お互いに成長し合う1、何かあれば分かりやすく説明する1、仕事は自ら進んでやる1、その時による1、普通に接する1、お互いにバカになる1、子どもの手本となる行動をする1、アイコンタクト1

第7位までを占めていた。

保育学生が考える保育者が園長先生とかかわる場合の接し方については、報告・連絡・相談をする、礼儀をわきまえて謙虚な心で接する、園長先生の考えや方針に従って接するなどの接し方を示していた。

考 察

1 保護者(親)が子どもとかかわる場合の接し方

保護者(親)が子どもとかかわる場合の接し方の上位3項目で見ると、父親は「一緒に遊ぶ」「父親の逞しさ・強さを教える」「優しさと安心感を与え厳しく接する」で、父親として一緒に遊びながらも父親の逞しさ強さを教えながら厳しく接することを示していた。母親は「優しく厳しく接する」「愛情を注ぐ」「躾・善悪・ケジメ・礼儀などを教える」で、母親として優しく愛情を注ぎながら躾や善悪や礼儀などを教える接し方を示していた。祖父母は「伝承遊びをする」「日本の文化や伝統を教え伝える」「優しい祖父母で接する」で、伝承遊びや日本文化を伝える役割を担いながら優しく接することを示していた。

子どもとかかわる場合の保護者である父親・母親・祖父母に共通する項目が見られた。「一緒に遊ぶ」(父親1

表4. 保育者が園長先生とかかわる場合の接し方 (%)

項目	件数 (%)
1. 報告・連絡・相談をする	45 (29.0)
2. 礼儀をわきまえて謙虚な心で接する	27 (17.4)
3. 園長先生の考えや方針に従って接する	26 (16.8)
4. 園長先生に尊敬の気持ちを持つ	21 (13.5)
5. 自分の思っている事を伝える・話す	19 (12.3)
6. 園・クラスの出来事を伝える	16 (10.3)
7. 明るく笑顔で謙虚に挨拶をする	13 (8.4)
8. 言葉遣いに気を付ける	11 (7.1)
9. 園の方針を理解し合う	9 (5.8)
10. より良い教育のために話し合いをする	8 (5.2)
11. 安心感のある良い園になるようにする	7 (4.5)
12. 分からない事や疑問は尋ねて行動する	6 (3.9)
13. 信頼関係を創る	6 (3.9)
14. 子どもの話をたくさんする・話し合う	4 (2.6)
15. 人間関係を良くする	4 (2.6)
16. 常に学ぶ姿勢で接する	4 (2.6)
17. 感謝の気持ちを忘れない	2 (1.3)
18. その他	11 (7.1)
N A	6 (3.9)
合計	245 (155)

位・母親12位・祖父母8位)であり、「優しく厳しく接する(母親1位)」「優しさや安心感を与え厳しく接する(父親3位)」「優しい祖父母で接する(祖父母3位)」であり、「愛情を注ぐ(母親2位)」「愛情を注いで大事に接する(父親4位)」「愛情を注ぐ(祖父母5位)」であり、「嫉・善悪・ケジメ・礼儀等を教える(母親3位)」「嫉やケジメや善悪を教える(父親6位)」「礼儀や善悪などを教える(祖父母7位)」であり、「園行事や送迎に参加する(祖父母9位)」「園行事や送り迎えに関わる(父親10位)」「園行事や送迎に参加する(母親15位)」などであった。このように、父親・母親・祖父母に共通する子どもとかかわる場合の接し方として、保育学生は、5項目の類似の接し方をあげていた。

保護者が子どもとかかわる場合、子どもと一緒に遊んでいるながらも愛情を注いで優しく厳しく接して、嫉や善悪や礼儀作法等を教え、園行事や送迎に参加することが大切であると保育学生は認識している。

2 保育者が保護者とかかわる場合の接し方

保育者が保護者とかかわる場合の接し方の上位3項目で見ると、父親は「園での出来事(様子)を伝える」「子どもとの過ごし方や悩みや気持ちを聞く」「遊んだり触れあったりして接する」で、保育者は父親に園での子ども達の出来事(様子)を伝えたり子どもとの過ごし方

表4. 自由記述の各項目の反応数

- 報告・連絡・相談をする-何事も相談する29、報告・連絡・相談をする13、分からない事は素直に聞く2、相談して解決する1
- 礼儀をわきまえて謙虚な心で接する-礼儀をわきまえて話す15、謙虚な心で接する11、上下関係をしっかりとする1
- 園長先生の考えや方針に従って接する-園長先生の方針に従う10、園長先生の考えなどに従って接する9、園長先生に言われたことを素直に受け入れる4、指導を受ける1、指導してもらう1、指導内容を伝え改善を聞く1
- 園長先生に尊敬の気持ちを持つ-園長先生に尊敬の気持ちを持つ21
- 自分の思っている事を伝える・話す-自分の思っている事を伝える・話す9、日頃からよく話をしておく5、聞かれた事はきちんと答える3、コミュニケーションを取る2
- 園・クラスの出来事を伝える-園・クラスの出来事を伝える16
- 明るく笑顔で謙虚に挨拶をする-挨拶をする・忘れない9、明るく笑顔で謙虚に4
- 言葉遣いに気を付ける-言葉遣いに気を付ける11
- 園の方針を理解し合う-園の方針を理解する5、園の方針を理解し合う4、より良い教育のために話し合いをする-保育者の意見も伝える4、より良い教育のために話し合い・意見も述べる2、自分の保育観を忘れずに伝える2
- 安心感のある良い園になるようにする-協力し良い園にする4、安心して過ごせる園になるように心がける3、
- 分からない事や疑問は尋ねて行動する-分からない事や疑問は尋ねる3、園長の意見を聞く2、話を良く聞いて行動する1
- 信頼関係を創る-信頼関係を築く6
- 子どもの話をたくさんする・話し合う-子どもの話をたくさんする・話し合う4
- 人間関係を良くする-仲良くしていく2、人間関係を良くする1、良い人間関係を創る1
- 常に学ぶ姿勢で接する-常に学ぶ姿勢で接する2、先輩として教えるを請う1、目標として接する1
- 感謝の気持ちを忘れない-雇用してもらったので感謝の気持ちを忘れないようにする2
- その他-前向きになれる言葉掛けを頂く1、反抗しない1、思いやり1、その時による1、普通に接する1、ケースバイケース1、熱意を持って接する1、ぶつかり合い1、全てをまかせる1、ミスした時は真剣に謝る1、会議や保育の時1

や悩みを聞いてあげたり遊んだり触れ合う接し方を示していた。母親は「相談に乗ったり聞いたりする」「園での出来事(様子)を伝える」「子どもと父親の関係や子どもの事を聞く」で、保育者は母親の相談に乗ったり聞いてあげたり子どもの園での出来事(様子)を伝えたり、自宅での子どもと父親との関係がどのようなものであるかを知るように努めている。祖父母は「子どもの様子(成長)を伝える・話す」「コミュニケーションを取る」「園での出来事(様子)を伝える」で、保育者は祖父母に子ども達の様子(成長)や園での出来事(様子)を伝えたり話したりするためにコミュニケーションを取りながら接する接し方を示していた。

保育者が保護者とかかわる場合の父親・母親・祖父母に共通する項目が見られた。「園での出来事(様子)を伝える」(父親1位・母親2位・祖父母2位)であり、「子どもとの過ごし方や悩みや気持ちを聞く(父親2位)」「子どもと父親の関係や子どもの事を聞く(母親3位)」「園での様子や親との関わりを聞く(祖父母7位)」であり、「礼儀と謙虚な気持ちで接する(父親4位)」「礼儀や挨拶や謙虚さで接する(祖父母10位)」「礼儀をわきまえて謙虚な心で接する(母親16位)」であり、「子どもの良い所を言う(祖父母4位)」「子どもの良いところを誉めたり言う(父親6位)」「子どもの良い所を誉めたり伝える(母親10位)」であり、「笑顔で暖かく優しく明るく元気に

接す（父親7位）」「笑顔で明るくはきはきとする（祖母9位）」「笑顔で暖かく明るく元気に接する」（母親13位）などであった。このように、保育者が保護者である父親・母親・祖父母に共通するかかわる場合の接し方として、5項目の類似の接し方をあげていた。

保育者が保護者とかかわる場合、園での出来事（様子）を伝えたり、子どもとの過ごし方や悩みや気持ちを聞いたり、礼儀と謙虚な気持ちで接したり、子どもの良い所を誉めたり伝えたり、笑顔で暖かく優しく明るく元気に接することが大切であると保育学生は認識している。

3 保育者が保育者とかかわる場合の接し方

保育者が保育者とかかわる場合の接し方として、第1位は「報告・連絡・相談」である。これは、どのような仕事であれ組織であれ、基本中の基本の接し方である。これがなされない職場は、ミスが生じたり人間関係の齟齬が生じたりする。第1位をさらに補完するように第2位から第4位までの項目が「相談し助け合う」「お互いに話し合いをする」「協力し合う」となっている。まさに濃密な人間関係の接し方が現場としては大切かつ重要な事柄となっている。さらに、第8位までを概観すると、同僚同士において「お互いに理解し認め合い尊重する」とともに「先輩から学び教えてもらう」「上下関係をしっかりする」「人間関係を大切にする」と言うように、相互の理解や協力や話し合いをするとともに先輩後輩の関係を密とした人間関係の接し方が、現場では必要かつ重要であると、保育学生はあげていた。

4 保育者が園長先生とかかわる場合の接し方

保育者が園長先生とかかわる場合の接し方においても、第1位は「報告・連絡・相談」である。組織人として上司と関わる際において、ここでもまた同じ基本中の基本の接し方である。第8位までを概観すると、園長先生への接し方として、「礼儀をわきまえて謙虚な心で接する」「園長先生に尊敬の気持ちを持つ」「明るく笑顔で謙虚に挨拶をする」「言葉遣いに気を付ける」などの尊敬と礼儀作法を求めた接し方を必要としている。さらに、園長先生の考えや方針に従って接しながら、自分の思っている事を伝えたり話したり、園・クラスでの出来事を伝えるなどの接し方が望ましいとしている。

上位8項目までを概観して言えることは、園長先生と保育者との関係が、上司と部下との人間関係のあり方を示したものであり、そのような接し方を保育学生があげていた。

おわりに

文部科学省は、「第1回実践的な職業教育を行う新たな高等教育の制度化に関する有識者会議」（2014.10.7）で、大学をグローバルで通用する高度なプロフェッショナル人材を輩出するG型（グローバル）とローカルな労働集約型の産業で生産性向上に資するスキル保持者を輩出するL型（ローカル）に分別して再編すべきであると提言している。すなわち、一部のトップ大学や学部以外は別に、それ以外の大学はL型大学と位置づけて職業訓練機能に特化すべきであるとしている。

この件に関して、大前研一（2015）は、「すべての人間の可能性を信じて、彼らが坂の上の雲に向かって歩んで行く勇気を持たせるのが教育者の正しいあり方だと思っている。偏差値のように人間を格付けしたり、大学を格付けするのは教育者のやるべきことではない」（p.144）と述べている。正鵠を得た指摘である。教育者の姿勢は、人間関係のあり方や人との接し方を変えていくものである。「はじめに」でも述べたが、厚生労働省や内閣府の提言は、人々の暮らしや人間関係のあり方や人との接し方に有形無形の変化をもたらしていくものである。

筆者は、「人との接し方」を「人間関係の接し方」と表記してきたが、人間関係の接し方は、グローバル社会での人種・民族・宗教・国家間の関係性から日々の暮らしの生活場面において、様々な接し方がある。人それぞれの考え方や生き方によっても人と人の接し方である人間関係の接し方は、色々ある。本研究が、それらを考えたり実践する契機になればと思っている。

幼稚園や保育所（園）や養護施設などでは、様々な人と人の関係がなされている。これらの人間関係がどのように展開されているかを知るために、保育学生に自由記述によるアンケート調査を実施した。その結果、保育学生から人との接し方として、様々な回答が寄せられた。保護者（親）が子どもと接する場合は、父親は子どもと遊んであげることであり、母親は優しく接してあげることであり、祖父母は伝承遊びをしたり教えたりすることであるとしている。保育者が保護者と接する場合は、父親には園での出来事（様子）を伝えることであり、母親には相談に乗ったり聞いたりしてあげたり、祖父母には子どもの様子（成長）を伝えたり話したりすることであるとしている。

ただし、父親や母親の子どもに対する接し方として、このアンケート結果を鵜呑みにできない点がある。それは、伝統的な性別役割分業に依拠する観念になることが想定されるために、性別役割分業を肯定するような理解が生じないように配慮すべきである。

いずれにしろ、この結果を現場にそのまま生かすことに保育者が保育者と接する場合は、保育者には報告・連絡・相談をすることである。保育者が園長先生と接する場合は、保育者と同様に、報告・連絡・相談をすることである。としている。このような結果を基に、保育学生が実習に行く前の事前指導や実習後の事後指導、あるいは現場での人間関係のなかで生かされたい。

保育学生が、幼稚園や保育所（園）や養護施設などでの教育・保育実習を体験する際に、乳幼児や子ども達を取り巻く保護者や現場で働く保育者や園長並びに施設長とのかかわりのなかで、本研究の結果が、生かされていくことを希求する。卒業後、各現場に勤務したときに、これらの結果が参考となって、相互の人間関係がより良いものとなることを期待したい。

勿論、本研究の結果が、教育・保育実習のみならず現場での勤務において、人間関係のなんらかのつまずきが生じて、実習に行く意欲を喪失したり忌避したり退職をしたりしないための一助として生かされたい。

謝 辞

本調査を実施するに際して、協力を惜しまなかった〇〇福祉専門学校の昼間の2年生保育コース（2006年卒）と夜間の3年課程の2年生保育コース（2007年卒）の学生諸兄・姉に深く謝意を表します。

引用文献

- 川喜多二郎（1967）. 発想法－創造性開発のために 中公新書
 川喜多二郎（1970）. 続発想法－KJ法の展開と応用に 中公新書
 厚生労働省（2015）. 子ども・子育て支援：子どもを生き育てることに喜びを感じられる 社会を目指して 2015. 4. 28
http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kodomo/kodomo_kosodate/
 松村 明（2012）. 大辞泉（第2版）小学館 p.2402.
 文部科学省（2015）. 文部科学省ホームページ 平成27年度スーパーグローバルハイスクールの指定について 2015. 3. 31
<http://www.mext.go.jp/aenu/kokusai/sgh/1356366.htm>
 内閣府（2015）. 子ども・子育て支援新制度 なるほどBOOK（平成26年9月改訂版） 2015. 4. 28
http://www8.cao.go.jp/shoushi/shinseido/event/publicity/naruhodo_book_2609.html
 新村 出（2008）. 広辞苑（第6版）岩波書店 p.1575, p.1860.
 大前研一（2015）. 文部科学省提言「G大学・L大学」は若者をつぶす 週刊プレジデント 2015. 4. 3号 プレジデント社 pp.144-145.
 幼稚園教育要領・保育所保育指針（2008）. 保育出版

参考文献

- 榎沢良彦・入江礼子編著（2009）. 保育内容人間関係 第2版

- 建帛社
 濱名 浩（2010）. 新時代の保育双書・保育内容 人間関係 株式会社みらい
 保育者と研究者の連携を考える会編（2000）. 保育における人間関係 ナカニシヤ出版
 金田利子・斎藤政子編著（2009）. 保育・教育ネオシリーズ [17] 保育内容・人間関係 同文書院
 森上史朗・小林紀子・渡辺英則編（2011）. 最新保育講座8 保育内容「人間関係」 ミネルヴァ書房
 無藤 隆監修・岩立京子編（2007）. 事例で学ぶ保育内容〈領域〉人間関係 萌文書林
 大嶋恭二（2012）. ー子ども・子育て新システムを読むーその1 あらためて「保育の本質」を考えるー子ども・子育て新システムとの関連でー 平成24年度現代保育研究所 第1回研修会 現代保育研究所研究報告
 小田 豊・奥野正義編著（2009）. 新保育ライブラリ 保育内容 人間関係 北大路書房
 大場牧夫・大場幸夫・民秋言（共著）（1990）. 新保育内容シリーズ・子どもと人間関係 萌文書林
 酒井幸子（2012）. 保育内容 人間関係 萌文書林
 坂口哲司（1990）. 幼児の人間関係を考えるー幼稚園・保育所の保育者になったと想定してー 保育とカリキュラム ひかりのくに 第39巻第9号, pp.14-17.
 坂口哲司（1990）. ならめっこ遊びを復活させようー人間関係コミュニケーションの始まりとしてー 保育とカリキュラム ひかりのくに 第39巻第2号, pp.40-43.
 坂口哲司（1991）. 看護と保育のためのコミュニケーションー対人関係の心理学ー ナカニシヤ出版
 坂口哲司（1991）. 紙芝居で人間関係を創ろう 保育とカリキュラム ひかりのくに 第40巻第12号, pp.12-15.
 坂口哲司（1992）. 第1章領域「人間関係」の目標とねらい 田中敏隆監修・坂口哲司（編集）「保育人間関係」 田研出版 pp.10-12.
 坂口哲司（1995）. 1章「人間関係」1人間関係を思う（4）保育人間関係への提言 保育・家族・心理臨床・福祉・看護の人間関係ー人間の生涯・出会い体験ー ナカニシヤ出版 pp.7-8.
 坂口哲司（2011）. 保育学生が考える保育者の姿勢や役割について 大阪総合保育大学紀要, 6, pp.113-136.
 坂口哲司（2012）. 保育学生が考える人間関係を育てる5つの心 大阪総合保育大学紀要, 7, pp.247-268.
 坂口哲司（2015）. 人間関係を育てる5つの心 ナカニシヤ出版.
 坂口哲司（2015）. 保育学生が考える人間関係の接し方ー子ども同士の接し方と保育者の子どもとの接し方ー 日本応用心理学会投稿中
 高橋省己（監修）（1990）. 人間関係（理論編）三晃書房
 田代和美・松村正幸（2009）. 演習保育内容人間関係 建帛社
 辰見敏夫（1993）. 第1章「人間関係」とは 辰見敏夫・永井千恵子・西沢幸子・渡辺真一編 領域人間関係 同文書院 pp.2-8.
 田宮 緑（2013）. 体験する・調べる・考える 領域人間関係 萌文書林
 吉森 護編著（1991）. 人間関係のハンディブック 北大路書房

How to Contact Human Relations (with Person) that Childcare Student Thinks about

: A Focus on Various of Involving Guardian (Parent) and Childcare Person

Tetsuji Sakaguchi

Osaka University of Comprehensive Children Education

The childcare student learns what to do to form good human relations by children based on the course of study for kindergarten and nursery school childcare guidance. Therefore I investigated it to know whether 155 childcare students (Department 1, n=112; Department 2, n=43) usually had how to contact what kind of human relations (how to contact with person). Open responses were requested on various forms of interaction in situations where guardian (parent) interact with children, childcare person interact with guardian, childcare person interact with each other, and childcare person interact with the principal. Results indicated that there are various forms of human relations and interaction (how to contact with person).

key words : course of study for kindergarten, nursery school childcare guidance, how to contact, human relations, childcare student